

20年度 入学式を挙

日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼人 中原 泉
編集人 中 泉
発行日 偶数月末日
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎ 025 (267) 1500



本学のシンボルマーク

晴れの新生たち

平成二十年度の日本歯科大学の入学式は四月初旬、生命歯学部と新潟生命歯学部で挙行された。あわせて大学院、東京短大、新潟短大の入学式も行われた。

生命歯学部

生命歯学部の部は、四月十一日に生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。定刻午後一時、鈴木洋一庶務部長により開式が宣せられ、生命歯学部入学生、編入学生、ならびに大学院生命歯学研究科入学生の点呼が行われた。

中原泉学長が「本学に入学したことで歯科医師へのパスポートを手に入れたと喜ぶのは早計である。歯科医師のライセンス取得はこれからの諸君の努力次第であり、努力しないで得られるほど歯科医師への道はたやすくはない」と訓辞(要旨別掲)を述べた。

院生命歯学研究科長が訓辞を述べた。「咀嚼機能の回復とその維持を本分とする歯科は二十一世紀の健康、医療、福祉で極めて重大な役割を担うと言える。いかなる分野でもスペシャリストになるためには、総合的な人間力を養わなければならない。大学院は人として最も豊かな自



新生に訓辞を述べる中原学長(生命歯学部)



力強く宣誓する新生代表(新潟生命歯学部)

中原泉学長訓辞

新生入生諸君は六年の教育課程を修了して卒業すると学士(歯学)の学位を取得する。他の四年制大学の卒業生は卒業と同時に官庁や会社に就職することができるが、医学部や歯学部の卒業生は、すぐに病院に勤めて患者さんを診療をすることはできない。それは学士(歯学)イコール歯科医師ではないからだ。歯学部卒業生は、歯科医師国家試験を受験する資格を有する者という立場である。国家試験に合格し、歯科医師の資格を取得してはじめて、患者さんの診療を行うことができる。本学を卒業することは一つのプロセスで、諸君が目指す到達目標は歯科医師のライセンスを得ることだ。国家試験は学士(歯学)の学位を得た諸君が個人の資格で受験する試験である。入学したから、ベルトコンベアーに乗って歯科医師のライセンスにたどり着くと考えるのは大間違いだ。ある教育者は自分に正直に生きなさいと説いている。これは自分の怠け心に正直に言ったほうがよいだろう。またある

新潟生命歯学部

新潟生命歯学部の部は、四月九日に新潟生命歯学部講堂において挙行された。定刻午後一時、大場憲一庶務部長により開式が行われた。

中原学長が訓辞(別掲)を述べたのち、下村浩巳大学院新潟生命歯学研究科長が訓辞を述べた。

「近年の学生は受け身に終始し、自発的に課題に取り組み積極的に議論をすることがない指摘されている。学力の低下、および受け身教育の欠点は、君たち自らの力で克服していかねばならない。

今日私は三つをお願いをしたい。第一に君たちが興味あること、大学が教えないことを目標と定めて挑戦してほしい。二番目には読書は心の支えになる。現代のように携帯電話やテレビといった画像を中心とした情報手

精神科医は、頑張りなくいいですよと若者に説くが、生まれ落ちた瞬間から生きることに努力するのが私たちの宿命であり、努力しないで生きようなどとあまりに人生を甘く見ている。近年新生を迎えて気がつくことは授業でノートをとらないことだ。江戸時代には一冊の原書を擦り切れるほどまわし読みして一心不乱に筆写した。当時の日本人の識字率は世界一であり、古来字を書くことは最高の記憶法だった。目と耳

からの伝達によってペン先に集中力を凝縮させ、耳と脳を同時に連動させる。教壇の先生の声を聞き、黒板を見ながら思考能力をフル回転させ、必要なことを選択してノートの書いていく。紙面に記された字は脳細胞に色濃くプリントされる。若い頭脳に刷り込まれた記憶は薄れても消えることはない。「つまりノートをとることは授業をよく聞くことを意味している。諸君はパソコン上の文章を覚えていくだろう。か。パソコンの気ぜわしい途切れた情報伝達が、

諸君の脳細胞にプリントされているだろうか。人間は楽なほうがいいので、できるだけ楽をして汗をかかず世の中を渡るとうとする。しかし、本学に入学した以上、自分のエネルギーを節約するのは誤りである。学問に省エネは通用しない。高い学費を払っているのだから、大学にはライセンスをとらせる責任がある、そう思うのは自由だが、国家試験を受験するのは学生諸君であり、合格するかどうかは、諸君の自己責任であることを、入学に際し十分に胸に刻んでいただきたい。(要旨)

学問に省エネは通用しない

江戸時代には一冊の原書を擦り切れるほどまわし読みして一心不乱に筆写した。当時の日本人の識字率は世界一であり、古来字を書くことは最高の記憶法だった。目と耳

平成20年度 入試相談会日程一覧表

開催地	開催月日(曜)	開催時間	会場名	電話番号
郡山	9月11日(木)	15:00~18:30	ホテルはまつ 3F 平安の間	024-935-1122
福島	9月10日(水)	15:00~18:30	サンパレス福島 グランドシンフォニー 4F	024-523-3811
新宿	6月19日(木)	15:00~18:30	新宿NSビル B1F イベントホール	※03-3349-1966
	10月11日(土)	13:00~16:30	新宿エルタワー 30F サンスカイルーム	03-3348-9681
新潟	6月18日(水)	15:00~18:30	ホテル新潟 3F 飛翔の間	025-245-3331
	9月12日(金)	15:00~18:30	ホテル新潟 3F 飛翔の間	025-245-3331
長野	9月1日(月)	15:30~18:30	メトロポリタン長野 3F 浅間の間	026-291-7000
大阪	9月27日(土)	13:00~16:30	大阪城ホール内 東側 城見ホール	06-6941-0345

(二面につづく)

17回目の訪問学生 マヒドン 学名 6名



東京短期大学の入学式は、四月十一日に歯学部富士見ホールで挙行された。定刻午前十一時、印出光宏書記(短大事務室)の司会により開式が宣せられ、歯科衛生学科と歯科技工学科の入学式、専攻科生(歯科技工学専攻)の点呼が行われた。小口春久学長は訓辞に立ち、「大学時代は高校時代と違い自由があるが、自由には責任が伴うので、責任ある行動をとらなければならぬ。ただ単に指示を待っているのではなく、自ら考え行動してほしい。資格を取得するだけでなく、いろいろなところから吸収し、将来リーダーシップをとって日本や世界の業界をリードしていただきたい。学生時代という、印象に残る大切な時代を無為に過ごさないことを願っています」と述べた。

新潟短期大学の入学式は、四月九日午前十一時から新潟生命歯学部講堂で挙行された。須貝将紀短大事務部長が開式を宣し、入学生、専攻科生の点呼が行われた。森田修己学長が訓辞に立ち、「本学は、創立以来の自主独立という日本歯科大学の建学の精神を受け、自分の行為に責任を持つ、人との関わりを大切にする、豊かな心を培う、この三つの大きなテーマで、教育を展開している。歯科衛生士は医療・介護の現場で患者さんに直接対面して診療補助や予防処置を行う。清潔と身ぎれいを常とし、人に接し業務に励むことで、職業人また社会人としての豊かな心を培い、そして仲間と友情の輪を広げ切磋琢磨していただきたい。皆さんの本学での健康を心から期待する」と述べた。

小倉英夫新潟生命歯学部部長は、新潟生命歯学部では、最大限皆さんの教育に協力したい。歯科衛生士の三大業務のうちの一つが予防処置である。つい最近、新潟県の十二歳児のうち歯罹患率が一本未満となり全国で最良の結果となった。これは皆さんの先輩の歯科衛生士の人たちが、歯科医師とともに予防に努めた結果である。三年間の教育を通じて地域社会、さらには人間社会に貢献できる人間に大きく育っていただきたい」と述べた。おわりに新入生を代表

して小島しお梨さんが宣誓し、午前十一時四十分閉式した。

大学院入学生

平成二十年日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生(一般選抜十一名、社会人選抜入学生六名・印)、十九年度後期入学生(一名・*印)、新潟生命歯学研究科入学生(七名)は次の通り。

柳井智恵講師(附属病院口腔外科・七十七回卒)は平成十九年七月四日、姉妹校のスイス・ベルン大学医学部学位審査でDoctor Degree of Dental Medicine (DMD)の学位が承認され、本年三月に学位が授与された。同講師は平成十七年四月より二年間、ベルン大学医学部頭蓋顎顔面外科学講座に留学、臨床研修とともに「顎関節内障に対する顎関節内視鏡治療の臨床研究を行い、その内容が評価され、今回の学位授与となった。」

留学の当初からValentin Dr. Andreas H. Valentin教授(ベルン大)と交流を続け、今回の学位授与式で学位記を手にした。

学位授与式典で学位記を手にした柳井智恵講師。

柳井智恵(博士)は、平成十九年七月四日、姉妹校のスイス・ベルン大学医学部学位審査でDoctor Degree of Dental Medicine (DMD)の学位が承認され、本年三月に学位が授与された。同講師は平成十七年四月より二年間、ベルン大学医学部頭蓋顎顔面外科学講座に留学、臨床研修とともに「顎関節内障に対する顎関節内視鏡治療の臨床研究を行い、その内容が評価され、今回の学位授与となった。」

留学の当初からValentin Dr. Andreas H. Valentin教授(ベルン大)と交流を続け、今回の学位授与式で学位記を手にした。

東京短期大学の入学式は、四月十一日に歯学部富士見ホールで挙行された。定刻午前十一時、印出光宏書記(短大事務室)の司会により開式が宣せられ、歯科衛生学科と歯科技工学科の入学式、専攻科生(歯科技工学専攻)の点呼が行われた。小口春久学長は訓辞に立ち、「大学時代は高校時代と違い自由があるが、自由には責任が伴うので、責任ある行動をとらなければならぬ。ただ単に指示を待っているのではなく、自ら考え行動してほしい。資格を取得するだけでなく、いろいろなところから吸収し、将来リーダーシップをとって日本や世界の業界をリードしていただきたい。学生時代という、印象に残る大切な時代を無為に過ごさないことを願っています」と述べた。

新潟短期大学の入学式は、四月九日午前十一時から新潟生命歯学部講堂で挙行された。須貝将紀短大事務部長が開式を宣し、入学生、専攻科生の点呼が行われた。森田修己学長が訓辞に立ち、「本学は、創立以来の自主独立という日本歯科大学の建学の精神を受け、自分の行為に責任を持つ、人との関わりを大切にする、豊かな心を培う、この三つの大きなテーマで、教育を展開している。歯科衛生士は医療・介護の現場で患者さんに直接対面して診療補助や予防処置を行う。清潔と身ぎれいを常とし、人に接し業務に励むことで、職業人また社会人としての豊かな心を培い、そして仲間と友情の輪を広げ切磋琢磨していただきたい。皆さんの本学での健康を心から期待する」と述べた。

小倉英夫新潟生命歯学部部長は、新潟生命歯学部では、最大限皆さんの教育に協力したい。歯科衛生士の三大業務のうちの一つが予防処置である。つい最近、新潟県の十二歳児のうち歯罹患率が一本未満となり全国で最良の結果となった。これは皆さんの先輩の歯科衛生士の人たちが、歯科医師とともに予防に努めた結果である。三年間の教育を通じて地域社会、さらには人間社会に貢献できる人間に大きく育っていただきたい」と述べた。おわりに新入生を代表

して小島しお梨さんが宣誓し、午前十一時四十分閉式した。

大学院入学生

平成二十年日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生(一般選抜十一名、社会人選抜入学生六名・印)、十九年度後期入学生(一名・*印)、新潟生命歯学研究科入学生(七名)は次の通り。

柳井智恵講師(附属病院口腔外科・七十七回卒)は平成十九年七月四日、姉妹校のスイス・ベルン大学医学部学位審査でDoctor Degree of Dental Medicine (DMD)の学位が承認され、本年三月に学位が授与された。同講師は平成十七年四月より二年間、ベルン大学医学部頭蓋顎顔面外科学講座に留学、臨床研修とともに「顎関節内障に対する顎関節内視鏡治療の臨床研究を行い、その内容が評価され、今回の学位授与となった。」

留学の当初からValentin Dr. Andreas H. Valentin教授(ベルン大)と交流を続け、今回の学位授与式で学位記を手にした。

学位授与式典で学位記を手にした柳井智恵講師。

柳井智恵(博士)は、平成十九年七月四日、姉妹校のスイス・ベルン大学医学部学位審査でDoctor Degree of Dental Medicine (DMD)の学位が承認され、本年三月に学位が授与された。同講師は平成十七年四月より二年間、ベルン大学医学部頭蓋顎顔面外科学講座に留学、臨床研修とともに「顎関節内障に対する顎関節内視鏡治療の臨床研究を行い、その内容が評価され、今回の学位授与となった。」

留学の当初からValentin Dr. Andreas H. Valentin教授(ベルン大)と交流を続け、今回の学位授与式で学位記を手にした。

学位授与式典で学位記を手にした柳井智恵講師。

柳井智恵(博士)は、平成十九年七月四日、姉妹校のスイス・ベルン大学医学部学位審査でDoctor Degree of Dental Medicine (DMD)の学位が承認され、本年三月に学位が授与された。同講師は平成十七年四月より二年間、ベルン大学医学部頭蓋顎顔面外科学講座に留学、臨床研修とともに「顎関節内障に対する顎関節内視鏡治療の臨床研究を行い、その内容が評価され、今回の学位授与となった。」



小口学長の新入生訓辞(東京短大)



訓辞を述べる森田学長(新潟短大)

- (生命歯学研究科)
- 解剖学 I ○山崎昌彦
 - 生理学 ○井出良治
 - 生化学 ○牧野路生
 - 生理学 ○笹谷和伸
 - 生化学 ○橋本孝志
 - 病理学 ○杉本利昭
 - 薬理学 ○安保義則
 - 衛生学 ○青山いずみ
 - 衛生学 ○三井清美
 - 口腔学 ○米山勇哉

- 機能性咬合治療学 本多利人
- 歯周機能治療学 多田和弘
 - 歯周機能治療学 山下亜希
 - 小児口腔行動科学 山下貴絵
 - 顎口腔全身関連治療学 福島琢士
 - 顎口腔全身関連治療学 吉岡裕雄

- 命歯学部、東京短期大学、新潟短期大学のクラス主任は次の通り(カッコ内数字は学年、下段は副主任)
- (生命歯学部)
- (1)三代冬彦 青木春美
 - (2)古西清司 吉田俊爾
 - (3)砂田勝久 小川智久
 - (4)菊部洋行 今井敏夫
 - (5)仲谷 寛 岩田 洋
 - (6)高森 等 伊藤 弘

- (新潟短期大学)
- (1)伊勢村知子 原田志保
 - (2)須田真理 豊田 恵
 - (3)野村正子 山田京子

- 客員教授を委嘱する(口腔外科学講座)
- Dr. T. J. 青葉 客員教授を委嘱する(歯科矯正学講座)
 - 歯学博士 小口 春久 客員教授を委嘱する(小児歯科学講座)
 - 経済学修士 隈部まちな子 客員准教授を委嘱する(コミュニケーション学)
 - 医学博士 橋本 尚詞 客員准教授を委嘱する(共同利用研究センター)
 - 歯学博士 江藤 一洋 客員教授を委嘱する(共同利用研究センター)
 - 歯学博士 上田 実 客員講師を委嘱する(共同利用研究センター)
 - Dr. Steven Wozny Diniton 客員研究員を委嘱する(衛生学講座)
 - 医学博士 齋藤 宣彦 客員教授を委嘱する(附属病院内科)
 - 歯学博士 熊木 克治 客員教授を委嘱する(解剖学第一講座)

Dr. Kat-Luwig Achermann 客員教授を委嘱する(総合診療科・口腔インプラントセンター)

鈴木滋夫前監事逝去

学校法人日本歯科大学の前監事鈴木滋夫先生は五月十日逝去された。享年八十五歳。鈴木先生は昭和十九年本学卒業(第三十四回卒)。東京都歯科医師会会長等を歴任し、平成十二年十一月から十三年十二月まで本学法人監事を務めた。葬儀・告別式は、五月十七日に東京上野公園の輪王殿でしめやかに執り行われた。

Dr. Namath Chatchayan 客員研究員を委嘱する(歯科補綴学第一講座)

Dr. 山内 淳一 客員講師を委嘱する(歯科保存学第二講座)

必携 歯科医院

経営のすべて

歯科医療管理学の応用

最新刊

永山正人 著 (第54回増刊)

価格: 6,300円 (税込)

歯科医院経営に必要なあらゆる情報を、この一冊に凝縮。

一世出版

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22
電話: 03-3952-5141 FAX: 03-5982-7751